

「まちの縁側」普及事業

取組に至る背景・事業の目的

地域コミュニティが希薄となり個人の孤独化が進む中、連帯・協働・交流の場が失われつつある。そこで、誰もが気軽に立ち寄り、居場所や交流の場となる「まちの縁側」を普及させ、関わる人材や設置箇所等を増やし、新たなコミュニティやネットワークの構築による支えあいの地域づくりを推進する。

事業内容

- 「まちの縁側」看板づくり
 - 誰もが立ち寄れる場である「まちの縁側」を広く住民に知ってもらうための看板作り講習会を行い設置。
 - ・看板作り講習会（6地域、13回開催、153人参加）
 - ・看板設置 140枚、ミニ看板 500個
- まちの縁側冊子作成
 - まちの縁側を紹介するガイドブック「まちの縁側の素おすそわけ」と、まちの縁側に携わる人や出来事、場所などを紹介する「まちの縁側の素」を各1,000部製作し、イベントや講習会で活用。



【まちの縁側】

事業効果

- 「まちの縁側」看板作り
 - まちの縁側を担う人が集まり、自ら手づくり看板をつくることにより、参加者同士で縁側情報の交換を行うことができたほか、縁側を広めるグループが生まれ、看板を手作りし、縁側となる場所に贈呈をするなどの活動が広がっている。
- 「まちの縁側」冊子の作成
 - すでに町の中に存在する「まちの縁側」が発掘され、そこに命を吹き込むことにより、まちの縁側を広めることができたほか、冊子作りを通じて住んでいる地域を見直し再発見することで、新たな交流の場の創出やネットワーク作りのきっかけとなった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

今後、長野市内の未実施地域で看板作りと看板を掲げていく活動のお手伝いや、縁側の発見を行うなかで、新しい交流促進、既存ネットワークの強化等を行っていく。
また、まちの縁側で起きている話題や課題を集約し、発信していく活動を進めていく。

【選定のポイント】

住民交流の場として整備された「まちの縁側」案内看板やガイドブックにより、「まちの縁側」の更なる普及が図られたほか、独居老人などの高齢者を地域で守る取り組みや、「まちの縁側」を核とした新たな地域協働が生まれるなど、地域住民相互の連帯感の醸成が図られた。

団体名：まちの縁側推進プロジェクト（長野市） 連絡先：026-227-3707 （長野市ボランティアセンター） ホームページ： http://www.vnetnagano.or.jp/index.htm メールアドレス：volucen@vnetnagano.or.jp	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">事業タイプ</td> <td style="padding: 5px;">ソフト事業</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">事業費</td> <td style="padding: 5px;">1,813,560円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">支援金額</td> <td style="padding: 5px;">1,813,000円</td> </tr> </table>	事業タイプ	ソフト事業	事業費	1,813,560円	支援金額	1,813,000円
事業タイプ	ソフト事業						
事業費	1,813,560円						
支援金額	1,813,000円						